

公募要領

1. 概要

東京大学大学院薬学系研究科、ワンストップ創薬共用ファシリティセンターでは、質量分析・構造解析・生体機能解析の3分野における先端的设备を集約して配備し、これを産業界などの外部機関へ提供することにより、未だ有効な治療法がない国民病、難治疾患治療のための創薬シーズの発見、疾患診断技術開発による予防医療の推進を図ることを目的としています。

ワンストップ創薬共用ファシリティセンターでは、上記目的に合致する研究課題を広く募集します。

2. 利用課題公募

2.1. 利用区分

以下の2つの利用区分を設けています。

- a) 成果公開有償利用
- b) 成果専有有償利用

2.1.1. 成果公開有償利用

成果公開を条件とした有償利用です。成果非公開時の利用料金の3～4割の費用での利用が可能です。

知的財産保護のため、成果の公開延期を希望する場合は、所定の申請を行ってください。最大2年間の公開延期が可能です。

2.1.2. 成果専有有償利用

成果非公開での有償利用です。利用希望の場合は下記の問い合わせ先までご連絡頂き、利用申請書をご提出ください。

2.2. 応募条件

本センターは、産業界をはじめとする産学官の研究者等への共用を促進するとともに、多様なユーザーニーズに効果的に対応するプラットフォームの形成を促進し、科学技術イノベーションによる重要課題の達成、日本企業の産業競争力の強化、並びに研究開発投資効果の向上に貢献することを目的としております。

そのため、本事業への応募は、本施設以外の他部局および学外の学術研究者、特に産業界および産学連携研究に携わる研究者の方を対象としております。ご利用希望や、応募条件についてご不明な点がございましたら、6.の問い合わせ先まで個別にご連絡下さい。

2.3. 公募期間

本センターの利用は随時募集を行います。利用希望者は別途定めた利用申請書(様式1)を用い、電子メールにて課題申請をして下さい。

2.4. 課題審査

利用課題は、課題選定委員会による審議を経て決定します。

以下の点を審査基準にいたします。

- 1) 研究課題の先端性・発展性・新規性
- 2) 研究成果の基礎的研究や技術開発分野への貢献度
- 3) 研究成果の産業基盤技術進展に対する重要性・発展性
- 4) 研究課題の社会的意義及び産業経済・地域経済への貢献度

課題選定委員と課題申請者との間に利害関係を有する場合は、その委員を当該課題の審査から除外します。また、課題選定委員には、委員の職務を通じて知り得た応募課題および利用課題選定にかかる情報を第三者に漏洩することのないよう、秘密保持遵守を義務付けています。

選定結果は、課題選定委員会の結論が出次第、速やかにご連絡先へ通知いたします。

2.5. 利用開始時期

利用課題採択の決定後、利用者と本事業の担当者との間で実施内容、実施時期を相談して進めることになります。

3. 共用設備・利用料金

3.1. 共用設備

下記の装置群のご利用が可能です（末尾の「表1」参照）。

1-8 micrOTOF

1-10 フローリアクター

1-11 超高速液体クロマトグラフ・トリプル四重極質量分析装置

2-1 核磁気共鳴装置群（NMR, 400MHz）

2-3 原子間力顕微鏡

3-1 Bio-Plex200 システム

3-2 FACS Aria II, IIIu, III セルソーター

3-3 細胞選別分取装置 autoMACS

3-4 ArrayScan 細胞イメージアナライザー

3-5 共焦点顕微鏡 SP8

3-6 クリオスタット

3-7 多機能超遠心機、卓上超遠心機

3-8 ChemiDoc Touch イメージングシステム

3-9 タンパク質精製システム AKTAexplorer

3-10 BIACORE 分子間相互作用解析装置

3-11 プレートリーダー

3-12 ラボラトリーオートメーションシステム装置

3-13 レーザーマイクロダイセクション

3-14 ルミノイメージアナライザー

3-15 シングルセル分注システム CellenONE

3-16 全自動ウェスタンシステム JESS

3.2. 利用料金

有償利用での標準的な利用料金を表1に示します（注：R5 4/1より改訂されております）。機器の仕様等についてはホームページ（<http://www.f.u-tokyo.ac.jp/~onestop/>）でもご確認いただけます。

利用料金は利用区分に応じて変わります。ご不明な点は事前にご相談ください。

4. 利用成果の報告

4.1 利用成果報告書の作成

利用者は、装置利用終了後1ヶ月以内、または年度末ごとに利用成果報告書（様式2）を提出していただきます。成果公開有償利用の利用成果報告書はセンターのホームページにて公開されますのでご承知おきください。知的財産保護のため、成果の公開延期を希望する場合は、その旨を利用成果報告書に記載してください。最大2年間の公開延期が可能です。

利用成果報告書は、第三者が利用内容を十分に理解できるように、簡潔に作成して下さい。提出された利用成果報告書により各課題の事後評価を行います。

5. 留意事項

5.1. 知的財産権の帰属

利用者が本事業の支援を受けることによって生じた知的財産権については、原則として利用者に帰属します。

5.2. 生命倫理および安全の確保

生命倫理および安全の確保に関して、利用者が所属する機関の長などの承認・届出・確認などが必要な利用課題については、必ず所定の手続きを済ませてください。これらの手続きを怠った場合あるいは国の指針（文部科学省ホームページ「生命倫理・安全に対する取組」<http://www.lifescience.mext.go.jp/bioethics/>）などに適合しない場合には、審査の対象から除外され、選定結果が取り消される場合がありますので、ご注意ください。

不慮の事故に備えて、利用者は傷害保険等（労働者災害補償保険法に基づくものを含む）に加入してから、課題を申請してください。

5.3. 利用者責任

故意または重大な過失によって設備ならびに物品に損害を及ぼしたときは、その損害の全部または一部の賠償責任を利用者が負うことになります。

5.4. 情報管理

本事業によって本学が知り得た情報については、利用者の同意なくして公表することはありません。ただし、個別内容が特定されないかたちで統計処理されたデータおよび上記4.項に記載のホームページへの公開を除きます。

本学職員ならびに本事業に携わる共用促進リエゾン、技術指導研究員、補助員は守秘義務を負うことを徹底し、業務上知り得た情報を管理します。

6. 本事業に関する問い合わせ連絡先、書類提出先

東京大学 大学院薬学系研究科

ワンストップ創薬共用ファシリティセンター（担当 渡辺）

〒113-0033

東京都文京区本郷 7-3-1 薬学系研究科南館 3F 354 室

TEL: 03-5841-0279, FAX: 03-5841-0278

E-mail: one-stop@mol.f.u-tokyo.ac.jp

表 1 共用設備と利用料金

		機器名称	利用料金 (円/時間あたり)	
			成果公開	成果占有
1 質量分析	8	micrOTOF	2,800	7,800
	10	フローリアクター (フロー式異相系反応システム)	800	2,200
	11	トリプル四重極質量分析装置	1,200	3,300
2 構造解析	1	核磁気共鳴装置 (NMR, 400MHz)	2,400	6,800
	3	原子間力顕微鏡 (AFM)	1,300	3,600
3 生体機能解析	1	Bio-Plex200システム	2,000	5,700
	2	FACS Aria II, III セルソーター	2,400	5,800
	2	FACS Aria IIIセルソーター	3,000	6,000
	3	細胞選別分取装置 autoMACS	900	2,500
	4	ArrayScan 細胞イメージアナライザー	1,400	3,900
	5	共焦点顕微鏡 SP5	1,000	3,000
	7	多機能超遠心機、卓上超遠心機	300	800
	8	ChemiDoc Thouch イメージングシステム	400	1,100
	9	タンパク質精製システム AKTAexplorer	800	2,200
	10	BIACORE 分子間相互作用解析装置	2,000	5,600
	11	プレートリーダー ARVOX5	800	2,200
	12	Biomek FXP ラボラトリーオートメーションシステム装置	要問い合わせ	
	13	レーザーマイクロダイセクション	1,200	3,300
	14	ルミノイメージアナライザー LAS4010	400	1,100
	15	シングルセル分注システム CellenONE	2,000	5,700
	16	全自動ウエスタンシステム JESS	3,000/run	8,000/run